

8/10 金曜

日本も米国も核禁条約参加を

【】ヨーローク=島田峰隆】米国ヨーローク市内の日本総領事館前で、反原爆運動の原爆犠牲者を追悼する集会が開かれました。日本政府は「核兵器禁止条約に参加して核廃絶に取り組むよう求める集会が開かれました。」と述べました。【核のない世界のためのマンハッタン・プロジェクト】など地元の平和団体が共同で開催しました。

集会には米国人市民や「原爆禁止条約に参加を」「放棄入り海水を太平洋に放ち、歌を歌うなどして流さない」と書いた宣伝アピールしました。「核兵器を掲げました。」

原爆犠牲者を追悼し、日米両政府に核兵器禁止条約への参加を求める集会に集まつた人たち=8日、ニューヨーク(島田峰隆撮影)

集会には米国人市民や「原爆禁止条約に参加を」「放棄入り海水を太平洋に放ち、歌を歌うなどして流さない」と書いた宣伝アピールしました。「核兵器を掲げました。」

集会には米国人市民や「原爆禁止条約に参加を」「放棄入り海水を太平洋に放ち、歌を歌うなどして流さない」と書いた宣伝アピールしました。「核兵器を掲げました。」

原爆とバービー合成画像 米メディアも「批判」紹介

【ワシントン=島田峰隆】米国で7月下旬に映画「バービー」と「オッペンハイマー」が同日公開されたことを機に、バービーの髪形と原爆のきのこ雲を合成するなどした画像がSNS上に次々と投稿されました。被爆者や核実験被爆者の心像を無視し、核兵器の危険を軽く扱う投稿に日本で批判が広がりました。米メディアでも問題視する論調が出ていました。

「バービー」は世界的に人気の着せ替え人形の実写映画です。「オッペンハイマー」は原爆製造に携わった科学者の生涯を描いた映画です。いずれも米国で7月21日に公開されました。

SNS上では両映画のタイトルを掛け

笑えない「バーベンハイマー」

合せた「バーベンハイマー」という造語がつくられました。バービーの主演俳優の頭にきのこ雲を重ねた画像や、炎を背景に楽しそうなバービーがオッペンハイマーの主演俳優の肩に乗る画像などが相次いで投稿されました。ワーナー米本社のアカウントはこうした投稿に好意的に反応しました。

日本では批判の声が上がり、8月11日に公開予定の「バービー」を刪却しないよう呼び掛ける動きが出ています。ワーナー日本法人は7月31日、米本社の「配慮に欠けた反応」は「極めて遺憾」とする声明を発表しました。米本社は8月1日、メディア向けの声明で謝罪しました。

ニュースイーク・タイムズ紙は1日、「バーベンハイマーは核兵器の歴史が残る日本では笑えない」と題する記事で「日本では怒りという全く異なる反応が出ている」と指摘。CNNテレビは2

日、「広島と長崎への原爆投下を縮小(わいしょう)化していると批判が高まっている」と強調しました。

ニュースイーク紙は7月31日、「原爆犠牲者の多くはバービーで遊ぶ年代の子どもたちだった。日本では原爆は決して忘れていない」という米国人識者の声や、「バービーの銀盤はやめた」と語る日本の市民の声を伝えました。

「オッペンハイマー」については、原爆や核実験の被爆の描写が不十分だという批判がでています。

1945年に人類初の核実験が行われた米南西部ニューメキシコ州で被爆者補償を求めている団体の幹部、ティナ・コルドバ氏は米紙で「私たち被爆者は再び無視された」と批判しました。一方で同映画がきっかけとなって米国内で核兵器の問題に世論の関心が高まることにも期待を表明しました。



集会で発言した「社会的責任のための連絡会(PSR)」のエレン・フェラント氏は「いまかつてなく核兵器使用の危険が高まっています。命を救うことに入生をさかみる麻酔と同じで核兵器の使用を必ず止め、廃絶したい」と強調。

「自分の声は小さいからと諦めないでほしい。いまは核兵器禁止条約がありま

す。核兵器廃絶へ全員の声を合わせましょう」と訴えました。

米国議院中、日本人も含めた代表団が衆議院議場にて公演を行なった。代表団によると、総領事館は書簡を受け取り、本音に届ける述べました。

書簡は、ロシアのウクラ

イナ優姫は「核の傘」が戦争を防げないことを示して

とし、日本政府に対し核兵器禁止条約への参加と米国との「核の傘」からの脱却を呼び掛けました。原発汚染の海洋放出中止、朝鮮半島の非核化に向けたプロセスの支持も求めました。

ト・カイルバックさん(81)

は「核兵器を廃絶しない限り使用の恐怖はなくなりません。すべての国が禁止条約に加わってほしい」と話していました。

大島と連絡の原爆犠牲者立研究所前で集会が開かれました。北東部ボストン近くでは、日本で行なわれます。